

取引先情報ダッシュボードの開発

区 分	報 告	対象範囲	4資産（伝統的資産）
エグゼクティブサマリー - 取引先情報の一元的管理に資するプラットフォーム作りを企図（昨年4月） - 情報管理部がDTS社を使い、「システムベースの情報＋定性的評価や情報を定型のフォームに反映する」データベースを構築（10-12月） - 運用委託先と資産管理機関については、常時閲覧可能な取引先要項データベースとして利用を進める - 運用委託先や資産管理機関に限らず、各種接触先との面談記録については、柔軟な検索機能付きCRMとして利用を進める			
バックグラウンド 当法人の取引先情報管理には以下の問題点があることを認識 - 情報の管理場所、方法が属人的で標準化されていない - 時系列、キーワード別などの情報検索が困難 NRIを活用して調査したもののアセットオーナー、投資顧問会社に定番の取引情報管理ツールは無かったため、自家開発を判断		フィードバック期間及び検証方法 ---	便益及びリスク 【便益】属人的文書管理事務の削減・取引先情報の検索至便化 【リスク】システム拡張性の限界
戦略プラン - 運用委託先、資産管理契約先の情報を当システムに早期移管する - 接触履歴管理ツールについては、市場運用部、運用管理室に加え投資戦略部など他の部署でも利用を促進する		KPI ---	予算及び予算計画への影響 DTS社によるGPDR保守契約費用の中で作業したため、影響なし



取引先情報ダッシュボード 画面事例

運用受託機関①

運用受託機関会社概要				2018/01 時点				
運用受託機関名				委託ファンド (A/P)				
				国内債券				
				国内株式	1 (1/0)			
				外国債券				
				外国株式				
				計	1 (1/0)			
機関コード				担当窓口				
代表者	代表取締役社長兼CEO			担当者名				
所在地				連絡先				
【委託ファンド一覧】								
No.	コード	資産	A/P	委託先/マネジャーベンチマーク	当年度a	前年度a	目標a	運用残高 (前月末)
1		国内株式	A	BM: 東証一部株価指数 (東証・配当込み)	%	%	%	億円
運用資産残高合計								億円

運用受託機関②

基準日				2018/01	
BM/ 東証一部株価指数（東証・配当込み）					国内株式アクティブ
○前月末パフォーマンス			○年度通期パフォーマンス		
前月末残高（億円）	TWR	BM	α	年度通期α	目標αの達成率
○ファンド概要					
目標α					
リスク管理指標	実績トラッキング・エラーの管理目標値（年率換算） 中心目標値 = /上限目標値 =				
運用スタイル	レラティブ・バリューに基づくアクティブ戦略				
投資判断の 意思決定責任者	当戦略担当ポートフォリオ・マネジャー アジア株式部門最高投資責任者 他4名のポートフォリオ・マネジャー				
○前月末リスク管理項目					
推定TE					
実績TE					
○レーティング					
★					
○ファンド情報					
コード					
運用開始					
採用事由					
担当部署					
担当者					
連絡先					
★					
★					
ファンド詳細					

運用受託機関③

総合評価					
平成28年度の総合評価においては、定性・定量ともに一定水準以上であると評価（定性 、定量 、総合評価 ）					

トピック	

総合評価結果	
総合評価点	前回実績 ()
投資方針・運用プロセス	()
組織・人材	()
スチュワードシップ活動	()
付加価値サービス	()
(定性評価 計)	()
(定量評価 計)	()

報酬情報	
報酬体系	
基本報酬率	
BEポイント	
配分率	
支払率	
★	
★	
★	

○ファンドパフォーマンス・報酬データ（参考）

	期末残高 (億円)	α		①超過収益額 (百万円)	②報酬額 (百万円)		差引 (百万円)	
		(年率)	報酬率		控除後α	(発生報酬額)	年度支払報酬額	キャリーオーバー (①-②)
2016年度								
2015年度								
2014年度								
2013年度								

基準年月 2017/12

代表者		所在地	
担当部署	カスタマーサービス部	データセンター①	
担当部長		データセンター②	
営業担当者①		データセンター③	
営業担当者②		バックアップ・オフィス	
従業員(昨年度末)		システム会社	

※会社概要については、常に最新の情報を表示しています。

特記事項(共通)

資産管理機関②

対象資産：外国株式				
総合評価		事務過誤履歴		訴訟
対象年度	2016年度			
対象資産	外国株式	年度	件数	
総合評価結果		2014年度		
		2015年度		
1.組織・人材		2016年度		
2.業務体制		2017年度		
3.内部統制				
4.資産管理システム				
5.グローバル・カストディ		重大事項		
6.付加価値サービス				
7.情報セキュリティ				
コメント：				
業務体制及びグローバル・カストディに係る事務過誤が発生したが再発防止策を策定しており、その他業務体制にも問題なく、継続と判定した。				

資産管理機関③

受託資産①(全体)

資産	ファンド数	直近残高 (2017/11末)	平均残高 (2016年度)
外国株式	25		=
合計	25		-

※財投債についても償却原価法による簿価ではなく時価総額を表示している

受託資産②(資産別・AP別)

資産	AP	ファンド数	直近残高 (2017/11末)	平均残高 (2016年度)
外国株式	アクティブ	12		—
外国株式	パッシブ	10		—
外国株式	その他	1		—
外国株式	-	2		—
合計		25		—

受託資産③(ファンド別)

ファンドコード	ファンド略称	AP	直近残高 (2017/11末)	平均残高 (2016年度)
	MFS・外株A(MTBJ)	アクティブ		—
	アムンディ・外株A(MTBJ)	アクティブ		—
	BNY Mellon(ウィルソン)・外株	アクティブ		—
	野村アセット・外株EMA(MTBJ)	アクティブ		—
	野村AM(旧野村FR)・外株	アクティブ		—
	AMOne(ウィルソン)・外株	アクティブ		—
	ラザード・外株EMA(MTBJ)	アクティブ		—
	日興アセット・外株A(MTBJ)	アクティブ		—
	解_AMOne(ウィルソン)・外株	アクティブ		—
	ウィリントン・外株A_2(MTBJ)	アクティブ		—
	UBSアセット・外株A(MTBJ)	アクティブ		—
	三菱UFJ信託(ハートリー)・外株	アクティブ		—
	フラクティク(旧BGI)・外株	パッシブ		—
	スタートストリートGA・外株	パッシブ		—
	スタートストリートGA・外株P・北米	パッシブ		—
	スタートストリートGA・外株P・欧州	パッシブ		—
	スタートストリートGA・外株P・太平	パッシブ		—
	スタートストリートGA・外株P・新興	パッシブ		—
	りそな銀行・外株P(MTBJ)	パッシブ		—
	AMOne・外株P(旧MHTB)	パッシブ		—
	三井住友信託(中三)・外株P	パッシブ		—
	三菱UFJ信託・外株P(MTBJ)	パッシブ		—
	ラッセル・外株TM(旧	その他		—
	ラッセル・外株TM	-		—
	フラクティク・シャパン・外株TM	-		—
	合計			—